

ラジコで NHK ラジオが聴ける 「NHK・民放連共同ラジオキャンペーン」の一環として期間限定で実験的に配信 2017年10月2日(月)、正午頃より配信開始

株式会社 radiko(代表取締役社長:青木 貴博、所在地:東京都港区新橋)は、来る10月2日(月)正午を目途に、NHK ラジオの実験的な配信を開始します。NHK ラジオの配信は初の試みで、NHK と民放のラジオ番組がラジコで、シームレスに楽しめる環境を構築します。今回の試みは、日本民間放送連盟(民放連)と NHK が実施する「NHK・民放連共同ラジオキャンペーン」の一環で実現するものです。

配信期間は、10月2日(月)正午頃から翌年2018年3月30日(金)までです。NHK ラジオの配信は、無料で聴取できる配信エリア内でのライブ(同時配信)のみとなります。配信エリアは、関東広域(1都6県)、福岡県域、宮城県域、広島県域、愛媛県域の5エリアです。配信コンテンツは、NHK ラジオ第1(5エリア5コンテンツ)、NHK ラジオ第2(5エリア1共通コンテンツ)、NHK FM(5エリア5コンテンツ)です。なお、ラジコの『エリアフリー聴取(ラジコプレミアム)』(有料/配信エリア外聴取)、『タイムフリー聴取』(無料)の配信はありません。

現在、ラジコは、民放ラジオ86局と放送大学が参加し、月間ユニークユーザー数1,000万人、日間ユニークユーザー数100万人を超えています。また、2014年4月開始の『エリアフリー聴取(ラジコプレミアム)』(有料/配信エリア外聴取)のプレミアム会員数は約44万人(2017年9月現在)、さらに2016年10月開始の『タイムフリー聴取』(無料)の実証実験は、月間ユニークユーザー数約240万人(2017年9月現在)となっています。

ラジコは、言葉、音楽、スポーツの感動を通して、人の心を動かし、想像力をかき立てるラジオの存在意義をより高めるために、聴取環境を整え、ネットとの連携によって、新しいラジオの楽しみ方を提案することで、ラジコユーザー(=ラジオリスナー)を拡大し、ラジオの媒体価値向上を目指しています。音楽と人、エンターテインメントと人、テクノロジーと人、広告と人、地域社会と人、こうした関係すべてを繋ぐオーディオ・プラットフォームをつくる、それがラジコの未来像です。

【ラジコでの NHK ラジオ配信概要】

配信期間： 2017年10月2日(月)～2018年3月30日(金)まで

配信エリア： 関東広域(1都6県)・福岡県域・宮城県域・広島県域・愛媛県域の5エリア

配信コンテンツ： 11コンテンツ

- ①NHK ラジオ第1(関東広域・福岡県域・宮城県域・広島県域・愛媛県域)
※各エリアは別コンテンツ (5コンテンツ)
- ②NHK ラジオ第2(関東広域・福岡県域・宮城県域・広島県域・愛媛県域)
※すべてのエリアが同じコンテンツ (1コンテンツ)
- ③NHK FM(関東広域・福岡県域・宮城県域・広島県域・愛媛県域)
※各エリアは別コンテンツ (5コンテンツ)

なお、NHK は通常のライブ(無料/配信エリア内聴取)のみ配信。

『エリアフリー聴取』(有料/配信エリア外聴取)、『タイムフリー聴取』(無料)の配信はありません。